

宇部市立図書館の今後の方向性について ～宇部市立図書館個別施設計画～

宇部市立図書館は、市制施行60周年記念事業の一環として、平成3年(1991年)に琴芝町へ移転開館し、「生涯学習の拠点施設」として、子どもから高齢者まで多くの方に利用されています。また、視覚障害者のための点字資料室を設置しており、共生社会の推進においても重要な役割を果たしています。

◆宇部市立図書館の概要

1. 施設名 宇部市立図書館
2. 所在地 宇部市琴芝町一丁目1番33号
3. 構造及び面積 鉄筋コンクリート造 2階建
延床面積 4,094㎡
4. 建築年月 平成3年3月
5. 築年数 34年(令和7年4月1日時点)
6. 設置の目的 図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため。
7. 事業概要 生涯学習の拠点として、資料の収集、整理、保存及び情報化、国際化など、社会の進展に応じた情報の収集、サービスの提供を行っている。

◆既存建物の機能及び耐震性能等について

1. 駐車場 125台
2. バリアフリー対応 出入口、エレベーター、身体障害者用トイレ(1階)
3. 耐震性能 有:昭和57年以降の建築物(新耐震基準)であるため耐震化不要
4. 防災施設 非該当

◆既存建物の取扱い

当該施設は、令和2年度に策定した個別施設計画において、「今後も日常的補修を適宜実施し、現状を維持する。」としていたが、電気設備や空調設備、衛生設備の老朽化が進んでいる状況を踏まえ、令和5年3月に「宇部市立図書館リニューアル基本計画」を策定し、老朽化し改修や更新等が必要な設備や、図書館サービスの向上につながる機能アップを柱とした整備を行うこととした。これに伴い、建物の方向性を「現状維持」から「改修」へ改める。

◆今後の方向性

当該施設は、平成3年に建設された耐震性を有する施設であるが、屋上部分の防水シートの損傷が酷く、雨漏りや浸水により建物の劣化が進行している状況である。また、老朽化した電気設備や空調設備、衛生設備の故障等が発生し、今後の円滑な施設運営に支障をきたす恐れがある。

このため、屋上の防水改修及び設備の改修、更新を行うことで建物の保全を図り、生涯学習の拠点として長期的に利用していく。

◆概算事業費

- アスベスト事前分析調査費 2,000千円
- 設計費(実施設計) 24,000千円
- 工事費 550,000千円

◆スケジュール(予定)

R7年度			R8年度	R9年度	R10年度
9月	10月～12月	1月～3月			
アスベスト調査			入札・契約	リニューアル工事	
実施設計					